

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

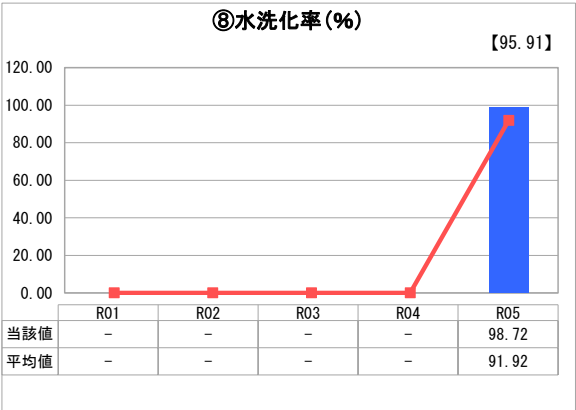
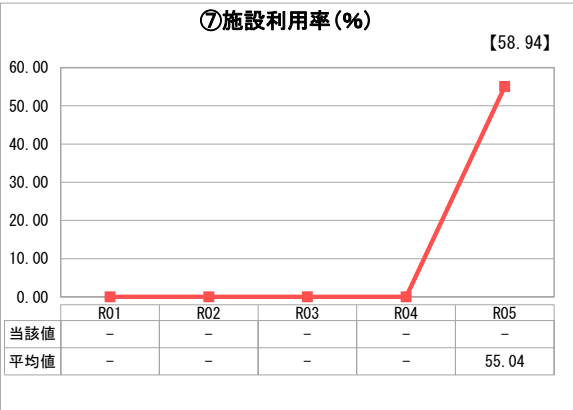
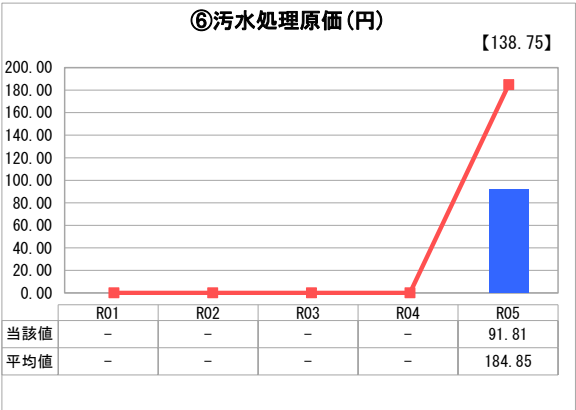
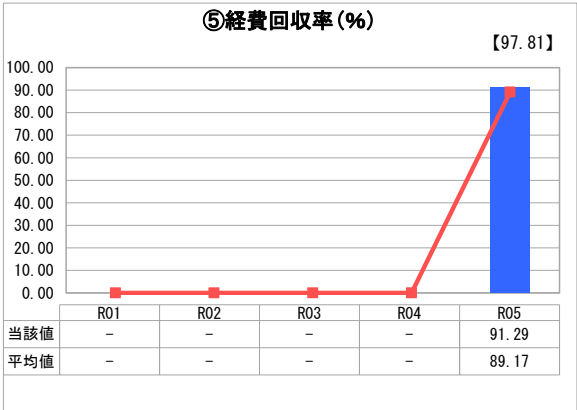
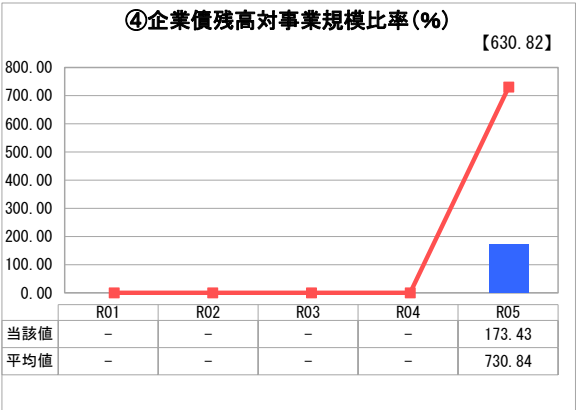
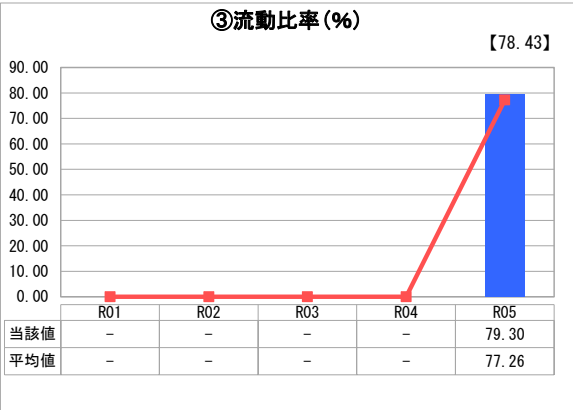
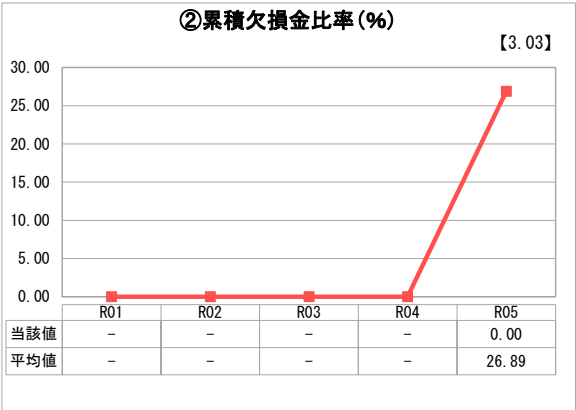
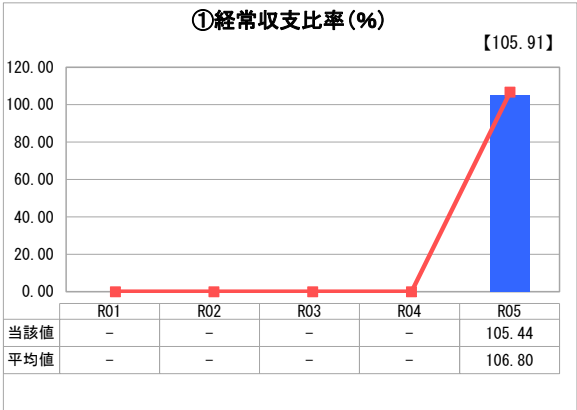
沖縄県 嘉手納町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	69.85	100.00	100.00	1,000

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,039	15.12	862.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,960	11.32	1,144.88

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 1. 経営の健全性・効率性について

本町においては、令和5年度より地方公営企業法の一部適用をし、地方公営企業会計へ移行した。そのため、令和4年度以前の数値は0となっている。

①経常収支比率  
令和5年は、黒字決算のため100%を上回ってる。

②累積欠損金比率  
累積赤字はありません。

③流動比率  
平均値は上回っているものの、指標の100%未満となっていることから経営状況の見直しを検討する必要がある。

④企業債残高対事業規模比率  
全国平均、類似団体平均を大きく下回っている状況である。今後、施設更新が控えており投資の健全化に努めていく。

⑤経費回収率  
使用料収入が伸び悩んでおり、污水处理経費の全額を使用料で賄うことができていません。

⑥污水处理原価  
全国平均、類似団体平均を下回っており⑧水洗化率も高い水準を示していることから、効率的事業経営が図られていると考える。

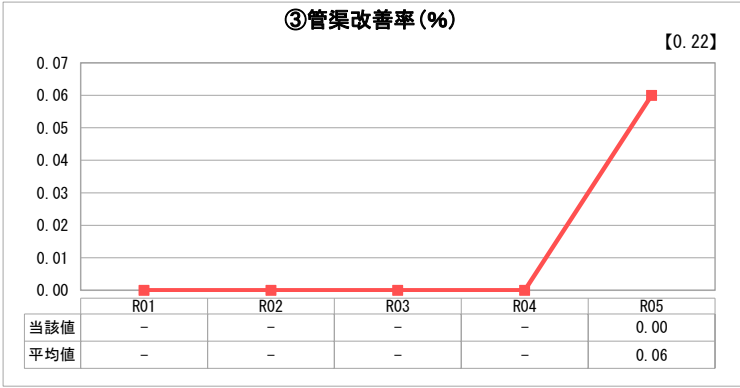
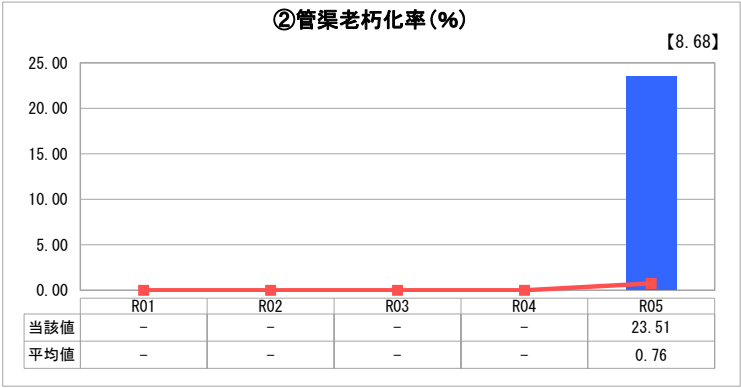
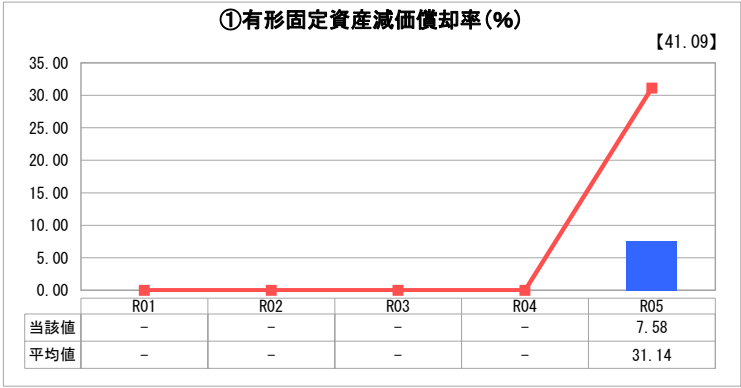
## 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率  
全国平均、類似団体平均を下回っており、良好な状態を示している。

②管渠老朽化率  
嘉手納町においては、公共下水道共用開始から50年を迎えており、法定耐用年数を経過した管路が計上されている。

③管渠改善率  
令和5年度においては、改築工事がなかったため、次年度以降ストックマネジメント計画等に基づき、管渠の健全度を調査しながら、計画的・効果的な施設の更新に努めていきます。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

下水道使用料収益については、新型コロナウイルスの影響時から、徐々に回復の兆しを見せておりますが、以前の排水量には届かない状況であり、年々減少傾向と今後も厳しい経営状況となります。

令和5年度からの公営企業会計適用に伴い、経営状況の分析・比較が可能となったことから、今後は経営戦略の見直しを実施し経営改善に向けた取組を進めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。